

令和6年9月

一般社団法人大阪臨床整形外科医会理事会議事録

日時：令和6年9月14日（土）15：00～18：00

場所：ハービス PLAZA 5階 会議室（第8,9,10）

出席者 39名（敬称略）

<会長> 貴島浩二 <副会長> 白木 隆士 木下 裕介 堀口 泰輔 河崎美也子 宮崎 浩
<理事> 明石 健一 榎本 誠 大窪 博 片岡 英一郎 河合大吾郎 岸本 英樹 小坂 理也
清水 広太 史 賢林 神藤 佳孝 調子 和則 中川 浩彰 中塚 映政 中野 晋吾
橋本 和喜 長谷川利雄 濱田 泰彦 藤本 啓治 邊見 俊一 堀口 泰輔 増田 博
三木 良久 宮口 正継 宮田 重樹 山口 眞一 山本 善哉 吉川 尚孝 吉村 弘治
和田 孝彦
<監事> 黒田 晃司 栗本 一孝 前中 孝文 <オブザーバー> 右近 良治

[協議事項]

1、令和6年6月O C O A議事録承認

中野理事

承認された

2、研修会実施予定

宮崎副会長

第372回大阪臨床整形外科医会研修会（令和6年9月28日 対面開催 現地会場：TKP ガーデンス
ティ PREMIUM 大阪梅田新道）共催 第一三共 16:00～

受付 小坂 理也 先生 濱田 泰彦 先生 司会 山本善哉 先生

講演Ⅰ：「股関節診療におけるピットフォールと対応

リウマチ性疾患や神経障害性疼痛への対策も含めて」 座長 山口 眞一 先生

講師：横浜市立大学 整形外科 准教授：崔 賢民 先生

日整会 N6、11、R、日医 61、日本リウマチ学会（1単位）、日本リウマチ財団（1単位）

講演Ⅱ：「人工膝関節置換術後の患者満足度向上を目指して ～術後動態解析からの最新知見～」

座長 岸本 成人 先生

講師：大阪大学大学院医学系研究科 整形外科学 講師 玉城 雅史 先生

日整会 N12、13、Re、日医 62、日本リウマチ学会（1単位）、日本リウマチ財団（1単位）

日本リハビリテーション学会（1単位）

第373回大阪臨床整形外科医会研修会（令和6年10月19日 対面開催 現地会場：ANA クラウン
プラザホテル大阪）共催 帝人ヘルスケア 16:00～

受付 中谷晃之 先生 吉川尚孝 先生 司会 重栖 孝 先生

講演Ⅰ：「骨形成促進薬による骨質改善と骨折抑制」 座長 神藤佳孝 先生

講師：東都春日部病院 整形外科 部長 田中伸哉（たなか しんや）先生

日整会 1、N4、日医 77、日本リウマチ学会（1単位見込み）、日本リウマチ財団（1単位）
日本骨粗鬆症学会（5単位）

講演Ⅱ：「骨粗鬆症性椎体骨折に対する外科的治療介入」 座長 中塚映政 先生

講師：和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 整形外科 助教 太地 良 先生

日整会 N4 N7 SS、日医 59、

日本リウマチ学会（1単位見込み）、日本リウマチ財団（1単位）、日本骨粗鬆症学会（5単位）

第374回大阪臨床整形外科医会研修会（令和6年11月16日 対面開催 現地会場：リーガロイヤルホテル大阪）共催 久光製薬 16:00～

受付 吉村弘治 先生 水沢慶一 先生 司会 河合大吾郎 先生

講演Ⅰ：「運動器疾患の痛みに対する私の治療方針」 座長 木下裕介 先生

講師：医療法人梅寿会四方医院 院長 四方 秀人 先生

日整会 N1（見込み） 日医 60（見込み）

日本リウマチ学会（1単位見込み） 日本リハビリテーション学会（1単位見込み）

講演Ⅱ：「頸椎後方固定術の現状 - 解剖を熟知した手術計画と患者さんに与える恩恵 -」

座長 村上仁志 先生

講師：公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 整形外科 主任部長 太田 雅人 先生

日整会 N4 N7 SS（見込み） 日医 63（見込み）

日本リウマチ学会（1単位見込み） 日本リハビリテーション学会（1単位見込み）

以上、承認された。

3、新入会

白木副会長

米谷 泰一 先生（大阪中之島整形外科）の入会が、承認された

4、令和6年度 各務文献追善法要と今後について

中野理事

令和6年10月20日（日） 午前10:30～11:30

浄春寺本堂

各務文献は江戸後期の整骨医で骨関節構造の実証的機能解剖学に基づいた整骨術を開拓した医師で、浄春寺に墓がある。柔整師が自分たちは江戸時代から続く整骨医と主張し各務文献を法要している。

・（内容）控室に集合、本堂で法要焼香、墓所に移動して焼香、控室で住職と談話

服装は平服で結構です。数珠は各自ご持参ください。今回、会食等はありません。

・人数把握のため参列していただける方は 9月末までに 総務の中野晋吾宛にメールを。

【審議事項】

1、お布施は、今年から 供花代込みで5万円 事前に会計から預かる

2、参加について、個人の意思を尊重し、先達を供養しようと思われる方のみ でよい

参加人数が決まれば、準備の都合上、数日前にはお寺に連絡

- 3、広報は OCOA 会員メール、理事会メール を利用して本年度より OCOA 総務から行う
(今までは、今井 秀 先生に行っていた)
- 4、今年度は、法要後の食事会について、事前に予約を取って行うことはしない
- 5、来年度以降の各務文献法要を OCOA 年間行事の中でどのように位置づけるかは、
常任理事会及び理事会で審議し、総務がその役割を担当する。
法要日程について、会長・幹部が出席されるのであれば必ずしも 10 月でなくても構わない
(お寺の都合もあるので) 今年度の法要の際に、住職とも相談をしておく。
以上、協議のうえ承認された。

5、ロコモ健康フォーラム（令和 6 年 10 月 26 日）について 木下副会長

- 1：当日の出務について 白木 隆士、中野 晋吾、明石 健一、重栖 孝（敬称略） 出務
 - 2：ロコモコーディネーター出務のお願い 出務費あり
 - 3：パンフレットの配布等広報のお願い
- 以上が確認、承認された。

6、大阪マラソン 大窪理事

1. アジアトライアスロンカップ（2024/大阪城）・大阪城トライアスロン 2024 出務報告

- ・ 2024/5/26（日） スタッフ集合 6：30 大阪城公園 （解散 16：30）
- ・ 医師は 7 名（救護本部 2 名 フニッシュ救護所 2 名 スイム・ランコース 1 名
モーターバイクメディカル 1 名）
- ・ 国際レースであるエリートと一般レースであるエイジに分かれる
- ・ 転倒や熱中症がほとんど
 - ・ 擦過創は水道水で洗浄してワセリンを塗るかプラスモイストを切ってテープで貼る
 - ・ 熱中症は氷水で冷やしたタオルで覆い扇風機で放射冷却を行う
 - ・ 救急搬送は 1 名（19 歳エリート女子 意識障害と嘔吐 搬送後に低血糖症と診断）
- ・ 本年は大阪府から出務依頼が遅く、大窪が出務したが、次回は大阪マラソンまでに出席状況を大阪府に確認して、大阪マラソン打ち上げ会で出務医を募れるよう準備する。

2. 2025 大阪マラソン大会 2025/2/24（日）

- ・ 昨年同様に大阪マラソン出務依頼 52 名、出務依頼は基本的に先年同様、各大学班長に出務依頼を依頼するが、確保が困難な場合はホームページなどで OCOA 会員に出務参加を呼びかける。
 - ・ 新出務の先生方には経費削減のためにもブルゾンのみ作成配布する（T シャツは無し）。
 - ・ 打ち上げ会会場はマンハッタンクレイン（ブッフュ スタイル）の予定。（昨年参加者 23 名）
 - ・ 地下鉄 1 日乗車券は大会本部から郵送されるグッズ（キャップや大会概要書）と一緒に郵送予定。
- 以上が報告され、承認された。

7、令和6年度 第18回 OCOA 運動器リハビリセラピスト資格継続研修会開催計画 山本（善）理事

開催計画進行状況

* 日時：令和6年10月27日（日） 12：00～16：30

* 場所：大阪府医師協同組合本部 8F 大ホール 会場定員は130名

* 講師および 演題

① 木下 裕介 先生	脊椎疾患における日常診療
② 三木 良久 先生	運動器リハビリテーションとそのプロセス
③ 吉田 清志 先生	肢体不自由の運動療法
④ 河合大吾郎 先生	下肢のリハビリテーション

* 日本運動器科学会資格継続単位4単位・ロコモコーディネーター資格継続研修単位2単位認定済セラピスト研修を受ける方が、ロコモコーディネーターの単位を上乗せでとれる形で受付

* 広報 OCOA ホームページへの掲載、NETLINK による会員への FAX、

状況により定期研修会送付物への同封依頼

* 受付方法 OCOA ホームページより Web 受付 8/26 から開始（現在 37 名の応募）

* 出務予定 （敬称略） 委員長（山本善）、貴島会長、宮崎副会長、堀口副会長、
白木副会長、木下副会長、吉村弘治、岸本英樹、明石健一、吉田清志

以上が承認された。

8、OCOA 医業継承システム

宮田理事

背景

開業医

- ・ 高齢会員が多く、継承できれば譲渡金を受け取ることが出来て処分する機器や備品も活用出来て職員の雇用を守ることにも出来、患者さんの紹介先を探す労力も要らない。
- ・ 高齢開業医でも継承すると自分の希望する時間だけ仕事をする事ができる（ある程度、繁盛しているときに継承して自分の好きな時間だけ診療する方がいい）。

勤務医

- ・ 新規開業には多大なコストがかかり、院内システム構築や職員教育に苦心することが多いが、継承はより少ない投資資金で当初より一定数の患者が見込め、職員に一から仕事を教える手間も要らない。
- ・ 50 歳代以降での新規開業は、低コストで現在一定数の患者のいる継承の方がリスク少ない。
- ・ 法人の場合、継承先は法人にお金を貸す形で入金するので、譲渡金は将来回収できる。

継承元の医師は譲渡金を退職金として受け取ることで節税できる

- ・ 継承したクリニックを引き継いだ後、年齢を重ねたときに、次の世代に継承することもできる。
- ・ OCOA で医業継承をお手伝いできれば高齢会員にとって大きなメリットである。継承目的で OCOA に入会する勤務医が増える（会員数減少を食い止めることができる）。

* OCOA 医業継承システム 案

- ・ 高齢会員に医業継承する意思があるか尋ねる。可能性がある場合、いつ頃かも確認する。

- ・ OCOA が継承希望開業医リストを管理する。
- ・ OCOA 会員で継承を希望する先生は、次期・場所を OCOA に伝える。継承を希望する先生は、当然勤務医で OCOA に入るメリットとなる。チェーン店展開している事業者は断る
- ・ OCOA は、それに該当する開業医をピックアップし、継承の意思を再度確認する。
- ・ 継承を希望する会員に診療所を見てもらい、継承したいか確認する
- ・ 両者の仮合意が得られれば、継承を仲介してくれる業者に連絡

* 既存の M&A 業者には頼まない

継承の仲介業者として同門会の意図を理解してくれる弁護士に依頼する 100 万円以下の予定
継承先と契約して、継承をサポートする(トラブル回避)

両者の意見を訊いて、納得のいく契約書を作成する

継承元にはお金を請求しない

継承が完結しても、少なくとも 1 年は、トラブルに対処できるように契約する

* 継承金額の設定

継承元家族で受けとっている年収を基に計算する

院内器具等はこみこみにする そうすることによって税理士コストがかからなくなる

* 継承元は、できれば 1 年以上一緒に診療してもらう

診療時間や給与等、診療期間等は要相談(弁護士)

* 業者と継承元、継承先が問題なく継承が行われているか OCOA は監視する

* 業者と継承元、継承先が問題なく継承が行われているか監視する別会社を作る予定

OCOA 医業継承システムを行っていくことが承認された

9、その他

貴島会長

OCOA50 周年祝賀会 (2026 年 11 月 26 日 ゲスト山中伸弥先生) について
実行委員が決まった。

10、会員動態

白木副会長

前回理事会 令和 6 年 6 月 1 日 (正会員 473 名) 以降 新入会 1 名

米谷 泰一先生 令和 6 年 8 月 24 日 入会 正会員

前回理事会 令和 6 年 6 月 1 日 以降 退会 3 名 (内正会員 3 名)

小泉 昌久 先生 令和 6 年 5 月 退会 正会員 御逝去

中野 恵介 先生 令和 6 年 8 月 6 日 退会 正会員 転勤

立沢 善和 先生 令和 6 年 8 月 退会

令和 6 年 8 月 27 日現在

正会員 471 名 (473-3+1) 特別会員 6 名 (うち 3 名が JCOA 名誉会員)

顧問(現役教授) 6 名近畿大学赤木教授退官され、後藤公志(こうじ)先生就任。

大阪医科薬科大学の根尾昌志先生が退官され、大槻周平先生が就任。

特別顧問 1名 茂松 日医副会長(正会員に含む)
名誉会員(元教授等) 9名 (田中清介先生ご逝去、越智隆弘先生ご逝去、
山野慶樹先生ご逝去 7月18日、赤木将男先生、根尾昌志先生が令和6年の総会で就任)
合計 492名 (JCOA 名誉会員が計6名)
山本 哲先生が6月2日JCOAの総会で名誉会員にご推挙されました
JCOA 正会員は OCOA 正会員 471名 + OCOA 特別会員 6名 477名
から JCOA 名誉会員 6名 を除いた 471名

[報告事項]

1、日整会 100 年プロジェクト市民公開講座準備委員会キックオフミーティング

8/2 東京日整会事務局・web 長谷川理事

出席：中島康晴理事長ほか (JOA)、長谷川利雄理事長ほか (JCOA)、日整会事務局、
(株) コングレ、(株) 博報堂

【審議事項】：日整会 100 年プロジェクト 第1回全国一斉市民公開講座WG議事録(案)

- 開催日：2026年11月28日(土)、29日(日)に加え、23日(祝日月曜日)(予備日)と決定。
- 依頼経路について
日整会 WG より、JCOA 各都道府県支部に依頼⇒JCOA 支部から都道府県ごとの大学・勤務(会)に相談の上、参加の有無を表明いただく。学会からも全国の教授に協力依頼を行っていく。
- イベント名について「全国縦断同日開催市民公開講座」は長いので意見を賜る。
- その他 開催時の都道府県ごとの企画数や日整会からの補助金の話があり、今後検討となった。

2、「整形外科医を目指そう」2024年度版

神藤理事

「自分で動ける」を守る、それが整形外科医の使命です (JOA 理事長 中島 康晴)
からはじまる資料と執筆者と内容が報告された。

3、令和6年度第2回日本臨床整形外科医会理事会

6/2・東京 神藤理事

【審議事項】

- ・理事長の選定について、理事の全員一致により長谷川利雄理事が理事長に選定された。
- ・副理事長(業務執行理事)の選定について、奥村栄次郎理事、松原三郎理事、五味潤聡志理事、河村英徳理事が審議の結果、理事の全員一致により承認、被選定者は、席上直ちに就任を承諾した。
- ・各種委員会等の設置、各理事の職務分担、各種委員会委員等の委嘱について、承認された。
- ・藤野圭司、田邊秀樹、新井貞男各会員の3名が顧問に、原田昭会員が参与に承認された。
- ・第37回JCOA学術集会(熊本)における日臨整誌の特集シンポジウムについて

第 37 回 JCOA 学術集会（熊本）から学術委員会（合同プログラム委員会）に対して提案があり、協議の結果「整形外科最新の保存療法」を掲載することとしたい、と報告があり承認された。

【各種報告事項】

令和 6・7 年度理事長諮問事項について、長谷川理事長は試案を示し、各担当理事の意見を求めたのち、各種委員会等に諮問を行った。加えて各理事に対し令和 6 年度第 3 回理事会までに、新しい委員等による委員会・WG を開催し、理事長諮問に沿って諸活動を開始するよう要請した。

【各委員会等報告事項】 5 つの委員会の報告

学会雑誌編集委員会（3/28）、経理委員会（4/14）、医療システム委員会（4/17）

運動器リハビリテーション介護保険検討委員会（5/19）、合同プログラム委員会（5/27～30）

4、令和 6 年度第 1 回 JCOADiT ブロック実務委員会（関東・中部）

7/18・WEB 神藤理事

神藤佳孝理事は、JCOADiT の設立経緯・趣旨及び各都道府県の災害対応委員会・災害実務連絡担当者の設置意義について説明した。

【報告事項】

- ・第 37 回 JCOA 学術集会（熊本）での災害医療チーム検討委員会企画のシンポジウムについて
神藤佳孝理事は、災害実務連絡担当者による被災状況の報告・連絡網の構築は JCOADiT 活動には不可欠なこと、今後も日整会との連携や一般社団法人日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT）との協働は必要であること等を述べた。
- ・各災害対応委員会での活動報告について 内堀充敏担当者（愛知県）
D ダイマー測定が可能な SEKISUI ラピッドピアを使用しての有用性や価格について報告した。
- ・能登半島地震報告
波多野栄重医師（穴水総合病院整形外科）は、発災後から自主的に DVT 検診活動に参加した経緯や活動内容・検診結果を報告した。エコーに接する機会の多い整形外科医の活動の一環として、DVT 検診の重要性が改めて認識された。

【協議事項】

- ・災害実務連絡担当者間の LINE 連絡網に関して、賛同者には参加をしていただきたい。
- ・災害実務連絡担当者の重要性・各ブロック内の関係等について
令和 6 年能登半島地震でも実務連絡担当者からの報告が大変有用であったことより、近隣からの支援も重要であるのでブロック内でのウェブ会議の開催等も提示された

5、令和 6 年度第 1 回医業経営委員会

7/28・東京 神藤理事

出席者：理事長 長谷川利雄、神藤佳孝（外内保連 WG 主担当）ほか

【委員会決議事項】

各委員会・WG が提案した項目に基づき、令和 8 年度診療報酬改定に向けた要望項目を検討。

他学会が提案主体となるもの、全国有床診療所連絡協議会を通じて日本医師会へ提出するものを確認し、日本臨床整形外科学会、日本運動器科学会が提出する要望項目を決定した。

【委員会報告事項】 外保連報告

令和 8 年度診療報酬改定要望を外保連経由で提出するために必要なことは、次のとおりである。

- (1) 外保連試案に登録されている項目である
- (2) 新しいエビデンスがあること
- (3) ガイドラインがあること

6、令和 6 年度第 1 回災害医療チーム検討委員会 6/18・WEB 神藤理事

出席者：理事長 長谷川利雄、 担当理事 神藤佳孝 ほか

【委員会決議事項】

- ・委員長は濱邊卓也委員が選任、副委員長として濱本洋輔委員が選任された。
- ・令和 6・7 年度理事長諮問事項について確認した。
- ・災害医療チーム（JCOADiT）の活動範囲及び行動指針の策定について

今回は保険の補償の関係もあり JMAT 傘下で新潟大学の榛沢和彦教授の DVT 検診チームに同行した。被災された会員支援ばかりでなく、亜急性期における避難所での活動を JCOADiT の活動の一環として進めていくかについて議論していくこととなった。

- ・各都道府県災害対応委員会及び災害実務連絡担当者名簿について、一部変更。
 - ・ 北海道・東北ブロック 糸賀英也（北海道） ・ 関東・中部ブロック 鮫島弘武（埼玉県）
 - ・ 近畿・中四国ブロック 宮崎 浩（大阪府） ・ 九州・沖縄ブロック 福嶋秀一郎（宮崎県）
- ・ JCOADiT の備品について、超音波機器を購入してはどうかと提案あり、今後検討する。

7、令和 6 年度第 1 回社会保険等検討委員会 6/24・WEB 神藤理事

出席者：理事長 長谷川利雄 外内保連 WG 担当理事 神藤佳孝 ほか

- (1) 社会保険等検討委員会について、

委員長は丸山晴久委員、副委員長として岡田祐司委員、柴田正人委員が選任された。

- (2) 外内保連 WG について、委員長は平泉 裕委員、副委員長として平澤直之委員が選任された。

令和 6 年度第 2 回社会保険等検討委員会議事録 7/27・東京 神藤理事

出席者：社会保険等検討委員会副理事長 奥村栄次郎、松原三郎、五味渕聡志 ほか

外内保連 WG 担当理事 神藤佳孝 ほか

- ・ 外来管理料はプラス算定となる
- ・ 骨折観血的整復術の算定点数と関節内骨折の算定点数が逆転している

【委員会決議事項】

- ・ 令和 6 年度 JCOA 保険審査員会議における設問の決定、当日の次第を確認した。

【委員会報告事項】 第 37 回 JCOA 学術集会（熊本）について

- ・本委員会企画のシンポジウム「令和 6 年度診療報酬改定と整形外科診療所の生き残る道」の総括
- ・今後の有床診療所は特色を出していないと生き残るのが厳しくなる
- ・今後は中医協の役割が低下に伴い整形外科医政協議会を通してのロビー活動が重要になってくる
- ・今後かかりつけ医制度が強化されたら、整形外科等のマイナーな診療科は経営が厳しくなる
- ・選定療養の対象医薬品は、院内処方では対象でない

8、令和 6 年度第 1 回日本整形外科学会理事会

6/20・東京 神藤理事

出席者：理事長 中島康晴 ほか 理 事 神藤佳孝 ほか

【報告・審議事項】

・第 160 回ロコモチャレンジ推進協議会（4/30）

日本医学会連合領域横断的連携活動事業でフレイル・ロコモ対策会議が継続となり、公募で採用された場合は日整会が事務局となることについて理事会に諮られた。

理事会で意見を交わした結果、日整会が事務局となることを承諾した。

・100 年プロジェクト推進会議の活動について

2022 年及び 2023 年の活動内容並びに 2024 年以降の行動計画について報告された。

全国市民講座の開催実現のため市民公開講座 WG を日整会 100 年プロジェクト推進会議に設置することについて理事会に諮ら、市民公開講座 WG の設置を承諾した。

・領域横断的的合同シンポジウムの進捗について

日本循環器学会及び日本糖尿病学会との領域横断的的合同シンポジウムの進捗について報告された。

9、令和 6 年度第 2 回日本整形外科学会理事会

7/10・福井 神藤理事

出席者：理事長 中島康晴 ほか 理 事 神藤佳孝 ほか

【決議事項】

・第 162 回ロコモ チャレンジ!推進協議会（6/24）

大江隆史理事から、資料 6 に基づき報告された。日本老年医学会のシンポジウムに参加した。

ウェブの改修を行い、ロコモアドバイズドクターの投稿が容易となったので、日整会メール通信で周知することとした。

・ヒストリアン委員会「100 年史原稿依頼先及び依頼状」の件、理事会に諮られ承諾した。

・教育研修会事務手数料切り替え時点の件

申請受付停止期間を 2024 年 7 月 21 日から 8 月 13 日までとし、申請受付停止期間終了後からウェブ開催の費用を 3 万円から 1 万円に変更することについて理事会に諮られ、原案のとおり承諾した。

・令和 6 年度全国整形外科保険審査委員会における日医への講演依頼

理事会に諮ら、日本医師会の長島公之常任理事への講演依頼を承諾した。

10、令和 6 年度第 1 回学会雑誌編集委員会

6/12・WEB 山口理事

出席者:理事長 長谷川利雄 ほか 委員 山口眞一 ほか

【決議事項】

- ・委員長及び副委員長の選任について

委員長は、委員の互選により立入久和委員が選任された。

副委員長に山口眞一委員（査読業務を担当）、今村恵一郎委員（編集業務を担当）が、選任された。

- ・令和6・7年度理事長諮問事項について 諮問事項を確認した。
- ・日臨整誌の投稿規程及び業務分担の見直しを検討することとした。
- ・投稿・査読システムについて

投稿・査読システム ScholarOne の運用開始に伴い、委託先業者と連携して随時見直していく。

【報告事項】

投稿・査読システム導入について オンライン投稿・査読システム(ScholarOne)を令和6年度から運用開始することについて、査読委員への周知を行ったことが報告された。

1 1、令和6年度第2回学会雑誌編集委員会

9/3・WEB 山口理事

出席者：副理事長 五味渕聡志 副委員長 山口眞一 ほか

投稿規定で抄録集に改定前のものが記載され混乱があった

数人の委員がかかった

【検討事項】

本学術集会からセルフ受付が開始され、他学会でも人を介する PC 受付が時代に合わなくなってきたため、来年からは現状を残しつつ、表者にメールで促す方法を取ることにした

【報告事項】

- ・雑誌第120号を6月末に発刊
- ・第37 回JCOA 学術集会（熊本）における反省点（立入）
 - （1）論文投稿について、学術集会論文の投稿が遅れて、期間延長を行った。
 - （2）PC受付について、オンラインでスライド受付を行ったため紙ベースの学術集会論文の投稿依頼
- ・令和6年度第3回理事会報告事項について（鮫島）
 - （1）転載許諾について、以前のシステムで論文の転載許可の権限が著者のため可とした。
 - （2）非会員からの論文投稿について

なお、投稿規程については、今後、委員会にて変更を検討することとした。

- ・投稿論文の状況

シンポジウム8「整形外科最新の保存療法」で発表の4名の先生に論文の投稿を依頼している。

- ・各県査読委員交代が報告された

大阪府 前任者：中野恵介先生（辞退） 後任者：選出せず（大阪府代表者より連絡）

参考：大阪府査読委員定員6名 現査読委員数 11名

1 2、第67回大阪整形外科セミナー

8/3・大阪（ハイブリッド開催）

山口理事

リアル会場：中之島ダイビル 32 階 会議室 当番世話人 北摂総合病院 劉 長勲 先生
症例検討 5 例 座長 大阪臨床整形外科医会 山口医院 院長 山口 真一 先生
特別講演 座長 北摂総合病院 病院長補佐 整形外科 部長 劉 長勲 先生
『高齢者の成人脊柱変形に対する保存治療と手術治療 ～骨粗鬆症治療を含めて～』
演者 独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院 脊椎外科診療部長 武中 章太 先生

・次回・次々回当番世話人の選定・確認

第 68 回当番世話人は、おおさかグローバル整形外科病院 藤尾先生

第 69 回当番世話人は、堺市立総合医療センター 大野先生

次回開催 2025 年 3 月 8 日（土）演者 京都大学医学部附属病院 整形外科准教授 大槻 文悟 先生

・第 66 回大阪整形外科セミナーの会計報告 収入 62,000-支出 20,372=41,628 円（次回繰越金）

【検討事項】

- ・済生会中津病院 乾先生ご定年に伴い、乾先生より後任に星野 雅俊先生をご推薦頂く。
- ・サトウ病院 古瀬先生 OCOA 理事満了に伴い、古瀬先生より後任の先生をご推薦頂く。

13、第10回 ホームページ管理委員会 8/2・WEB 宮口理事

出席者：副会長 木下裕介、白木隆士、宮崎 浩 常任理事 神藤佳孝

委員長 宮口正継 副委員長 明石健一 委員 邊見俊一 アドバイザー 牧元光成

【協議事項】

1、HP 内掲示物の修正やアップデートについて

(1) 2024 ロコモ健康フォーラム開催決定に協賛企業 6 社を掲載

(2) 第 37 回 JCOA 学会（熊本）を終了

(3) 診療報酬書改定について、説明動画等についてを令和 4 年度分から令和 6 年度分に変更

(4) 会員の部屋の社会保険診療情報改定情報に令和 6 年度分を追加予定（神藤先生）

2、入会員の紹介コーナーで新入会 3 施設に掲載希望か確認を要する

3、バナー広告の明 2 枠／6 枠ともに契約・掲載（6/24 臨時電磁的 HP 管理委員会にて内容承認）

【報告事項】

ホームページへのアクセス数は 2400 前後で安定しており当初よりは増えている

バナー広告はアクセス数が企業にとっては大事である

14、利益相反小委員会 6/5 堀口副会長

委員長の指名で副委員長に堀口泰輔委員が選任された。

15、第1回利益相反管理委員会 6/19・WEB 堀口副会長

出席者：理事長 長谷川利雄 委員 堀口泰輔 ほか

【委員会決議事項】

1. 委員長、副委員長の選任について、委員長は鶴上浩委員、副委員長は堀口泰輔委員が選任された。
2. 令和6・7年度理事長諮問事項について
 - (1) JCOAの利益相反に関する指針・規則間の不整合の修正は継続審議とした。
 - (2) 組織COIに関する対応の検討については、他の学会の動向を見ながら検討する。

16、令和6年度第2回学術委員会

7/7・WEB

堀口副会長

出席者：理事長 長谷川利雄 委員 堀口泰輔 ほか

【委員会決議事項】

- ・ 委員長及び副委員長の選任について、委員長は、委員の互選により堀口泰輔委員が選任され、委員長の指名で副委員長に石毛徳之委員が選任された。
- ・ 第36回日本運動器科学会学術集会（島根県）の会期は、令和7年7月19日・20日となっており、第38回JCOA学術集会（三重県）の会期（令和7年7月20日・21日）と重複している。三重と島根間の移動は大変であり、第38回JCOA学術集会の座長等の選定に注意が必要である。

【委員会報告事項】

1. 学術集会に関する資料
 - (1) JCOAウェブサイトの「会員の部屋」内、「JCOA図書館」の「学術集会、研修会」に掲載。
 - (2) 掲載されている次の資料を確認した。「学術集会マニュアル：長谷川利雄理事作成 2013/12/8」
2. 日本整形外科学会学術総会でのシンポジウム・パネルディスカッション案について
以下のもの以外の本委員会委員からの提案（テーマ、目的、演題、演者）について確認を行った。
 - ・ JCOA学術集会で実施のシンポジウムから学術委員による選定を行うもの
 - ・ 自賠・労災委員会、SLOC委員会、災害医療チーム検討委員会に依頼するもの
3. JCOA学術研究助成について
 - (1) 理事会で決定した、次の事項について報告された。
 - ①学術研究助成の会員資格について、JCOA学術研究助成へ応募する研究代表者は、当該研究助成の選考時に正会員であれば、その後名誉会員となっても問題ないこととし規則の変更は行わない。
 - ②令和6年度学術研究助成の審査結果について、令和6年度学術研究助成課題は該当なし。
 - (2) JCOA学術研究助成の審査に関する内規について確認を行った。
4. JCOA各種委員会メーリングリスト内規について確認を行った。

17、リクルート委員会

邊見理事

- ・ 大阪医科薬科大学の新規開業者のほとんどが医師会に入っていないようで、勧誘活動ができない。
- ・ 令和6年度も労災・府医の新規開業リストや、大学からの新規開業者情報から各大学別の非会員開業医を抽出し、入会勧誘を進めてきた。今後も会員の高齢化や新規開業者の減少に伴う会員数の減少が予想され、懇親会等を利用してリクルート活動をおこなっていききたい。

18、広報委員会

調子理事

- ・ 来年より PDF 化され、PDF 化により広告が減らないか検討が必要
- ・ 会報誌 50 号発刊（ ¥495,973+郵送代 ¥137,080 ）の報告
- ・ 次年度の大阪臨床整形外科医会会報 51 号（案）が報告された

20、第21回日本リウマチ実地医会

史 理事

日時：令和6年10月13日（日）13：00～18：30 ホテルグランヴィア大阪 20 階 名庭

共催：日本リウマチ実地医会・あゆみ製薬株式会社

会費：医師 5,000 円 メディカルスタッフ・薬剤師 1,000 円

当番世話人 史 賢林 理事 より概要が資料により紹介され、OCAO での広報を依頼された。

関節リウマチの診療に携わる内科医やコメディカルも参加する会で日整会の単位も取得できる。

OCAO 会員メールなどでの広報が承認された。

21、令和6年度第2回医療システム委員会

7/3・WEB 宮崎副会長

出席者：理事長 長谷川利雄 副委員長 宮崎 浩 アドバイザー 前中孝文 ほか

【委員長、副委員長の選出】

他薦により、委員長を吉田政史、副委員長を三輪雅彦、宮崎 浩 と決定した。

【協議・検討事項】

- ・ 令和6年度JCOA シンポジウム（令和6年11月10日（日）品川プリンスホテル）について
 - （1） テーマは、「柔整問題の過去と将来 JCOA の対応を振り返る」とした。
 - （2） 基調講演1の演題名「JCOA 医療システム委員会の歴史と向後の活動について」とした。
 - （3） 基調講演2は医科と柔整との併給禁止に加えて競合問題や亜急性外傷問題も含めたもの。
- ・ 令和8年度第99回JOA 学術総会（R8.5.21～24 神戸市）について
医療システム委員会から演題を出すこととした。目的としては勤務医の先生も診断書などで柔整問題に関わることがあり啓発も兼ねてシンポジウムを開催する。企画担当は三輪雅彦副委員長。
- ・ 医業類似行為に係わる健康被害等報告のお願い
WEB 入力をすすめるため方法を引き続き検討する。具体的な方法を決め IT 戦略委員会に依頼。

【報告事項】

- ・ 第1回認定スクールトレーナー養成講習会が開催される。スクールトレーナー制度を推し進めている先生は理学療法士単独では学校に行かせないと言っているが無理がある。某大学の教授にスクールトレーナー制度に日整会も協力しているので認めてほしい旨の話があったもよう。
理学療法士の超音波検査の実施も観察のみは可能であるが、説明は違反である。
- ・ 軽井沢ヴィネット記事「Orthopedic Clinic」という表記に対して軽井沢新聞社へ抗議文を送付。
- ・ 第97回JOA 学術総会デジタルポスターで「当院における医接連携の試み ―地域中核病院と接骨院・整骨院―」という演題で朝日大病院整形外科の医師が発表した。JOA 学術総会で医療システム委員会から医業類似行為に関するシンポジウムを開催して病院勤務の先生方への啓発が必要。

- ・「日本の整形外科の歴史」 三浦由太先生 の紹介

【資料】鍼灸柔整新聞でQ & A『上田がお答えいたします』で掲載中の上田孝之氏の経緯について。
厚労省で保健局医療課療養専門官や社会保険監査指導官などを歴任後、柔整師免許を取得

2 2、令和 6 年度第 3 回医療システム委員会

9/1・WEB 宮崎副会長

出席者：理事長 長谷川利雄、 副委員長 宮崎 浩、 アドバイザー 前中孝文 ほか

【協議・検討事項】

1. 令和 6 年度 JCOA シンポジウムについて

- (1) 基調講演 2 の演題名を「柔整あはきに対する日本医師会の考え方」に変更することとした。
- (2) ディスカッションの時間を十分確保、各演者の発表後質疑応答をそれぞれ行うこととした。

2. 第 99 回 JOA 学術総会（神戸市：令和 8 年 5 月 21 日～5 月 24 日）

シンポジウムの内容は、対象の多くが勤務医のため、あはき柔整への同意書や柔整からの紹介状への対応等、日常診療で勤務医が困っていることや健康被害を中心とし、不正問題は取り上げない。

【報告事項】

・令和 6 年度第 3 回 JCOA 理事会議事録（8/4）

- (1) JCOA ニュース発行時の同封文書が QR コードで表示する 1 枚のチラシ化する

・第 32 回社会保障審議会医療保険部 柔道整復療養費検討専門委員会議事録（4/26）

松本光司委員が、はり、きゅうにおける初検料、施術料が大幅に引き上げられたことを報告した。

・第 11 回あはき師及び柔道整復師等の広告に関する検討会（7/12）

第 9 回検討会では新規開業では整骨院の名称の使用を禁止すると決議されていたが、第 10 回検討会で撤回を求める要望書があり、その結果、あはき・柔整広告ガイドラインに「整骨院」に関する規制は記載されないこととなった。当委員会より j-let にてパブコメを依頼する文案を作成し、会員の先生方からパブリックコメントを提出していただき「整骨院」の名称を使用不可にするよう働きかける。

1. NHK 朝ドラ「おむすび」の公式ホームページ上でのキャスト紹介について

- ・「整体医院」という不適切な記載があり、小野直司アドバイザーの働きかけにより訂正された。
- ・今後の医業類似行為に係わる報道等への対応手順として

- 1. 情報入手 2. 委員会内報告 3. 個人名で迅速に報道機関に抗議するとともに理事長に報告（委員会名では出さない） 4. 理事会に諮り学会名で要望書を出すか検討。

【資料】（1）施術所、医療誤認広告だめ

(2) 鍼灸柔整新聞 Q & A『上田がお答えいたします』において、「保険医療機関で薬剤等の処方があったとしても具体的に柔整と同様の施術行為が保険医療機関において提供されていなければ、医科との併給とはみなされず、療養費の支給が認められる」との記載があった。

2 3、研修会実施報告

宮崎副会長

第 370 回大阪臨床整形外科医会研修会（令和 6 年 6 月 29 日 対面開催 共催 東和薬品）

参加者数 109 名（会員 93 名 非会員 16 名）

講演Ⅰ 日整会 N1、4 日医 77

日本リウマチ学会（講演Ⅰ 1 単位） 日本骨粗鬆症学会（講演Ⅰ 5 単位）

講演Ⅱ 日整会 N3、7、SS 日医 72 日本リウマチ学会（講演Ⅱ 1 単位）

大阪臨床整形外科医会 特別研修会（令和 6 年 7 月 27 日 対面開催 共催 大塚製薬）

参加者数 95 名（会員 72 名 非会員 23 名）

講演Ⅰ 日整会 N1、10、R 日本手外科学会（1 単位） 日医 83

講演Ⅱ 日整会 N14-5 日医 10（チーム医療）

日本リウマチ学会（講演ⅠⅡ 各々 1 単位）

第 371 回大阪臨床整形外科医会研修会（令和 6 年 8 月 24 日 対面開催 共催 旭化成ファーマ）

参加者数 109 名（会員 86 名 非会員 23 名）

*日整会単位申請 JOINTS 85 名（QR 77 名 手動 8 名）※ JOINTS で初めての受付も混乱は無し

講演Ⅰ 日整会 N1、6、R 日医 9

講演Ⅱ 日整会 N1、5、 日医 15

日本リウマチ学会 2 単位（講演ⅠⅡ各々 1 単位）日本リウマチ財団 2 単位（講演ⅠⅡ各々 1 単位）

24、その他

貴島会長

- ・ JCOA への運動器健診の実態報告が少なく、提出をしていただきたい
- ・ Google の書き込みで悪い意見のものを消去してあげます、との業者からの電話が存在し注意が必要

この議事録は、

定款第 40 条の規定に従い、代表理事及び出席監事が記名、押印する。

令和 6 年 9 月 14 日

一般社団法人大阪臨床整形外科医会

議長 会長

貴島 浩二



監事

黒田 晃司



監事

栗本 一孝

